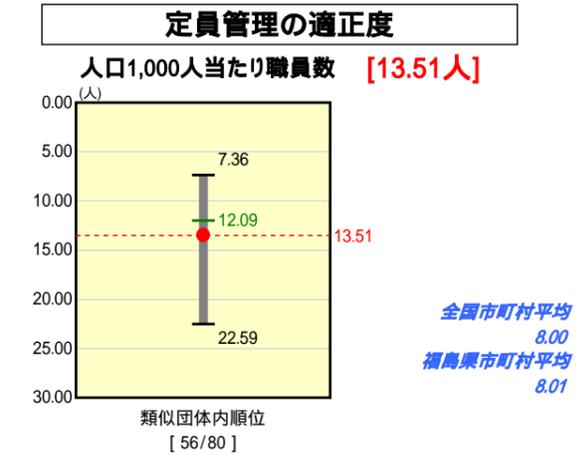
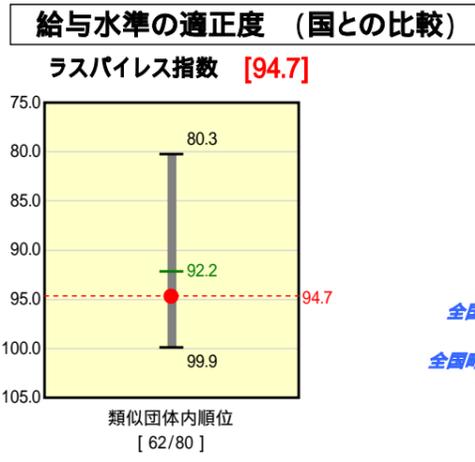
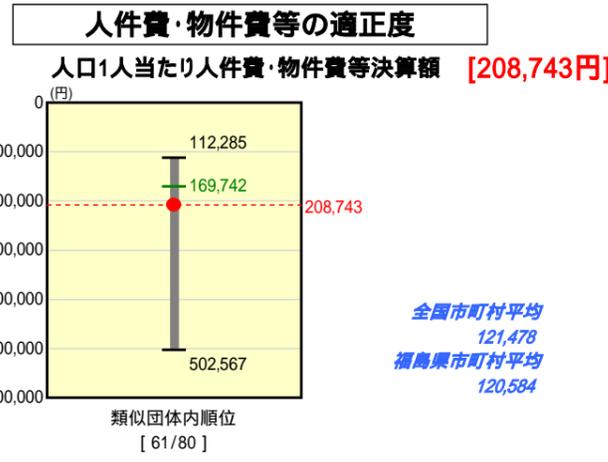
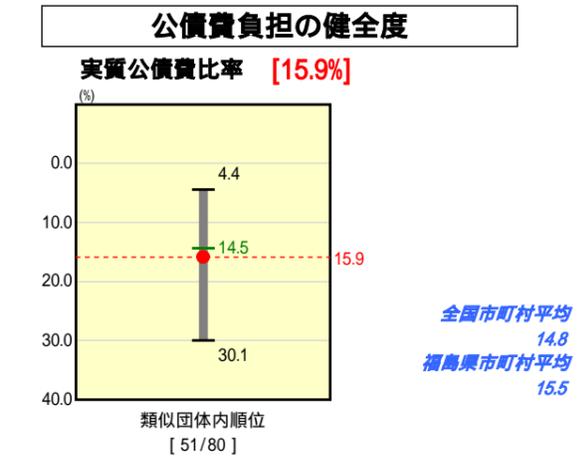
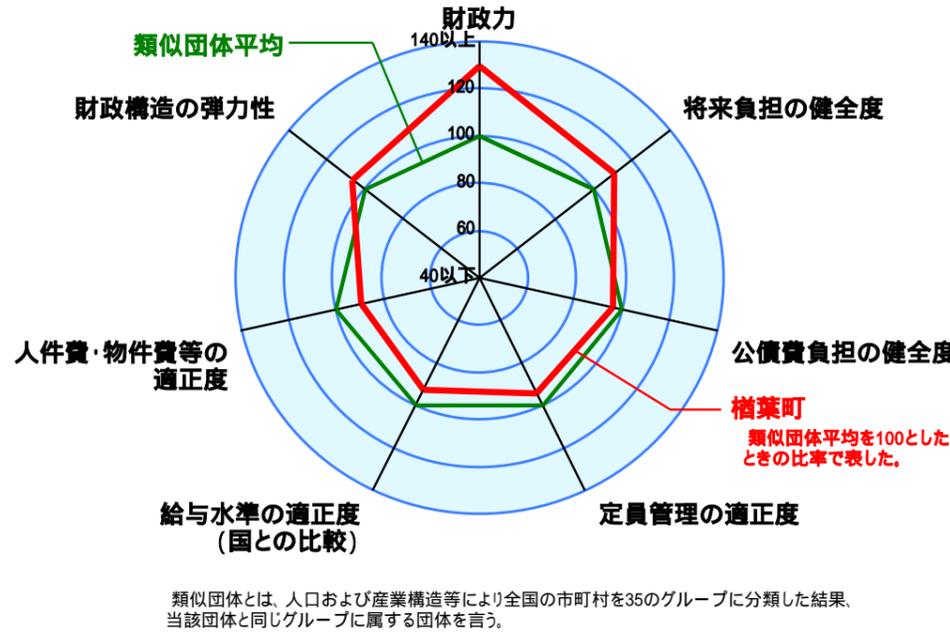
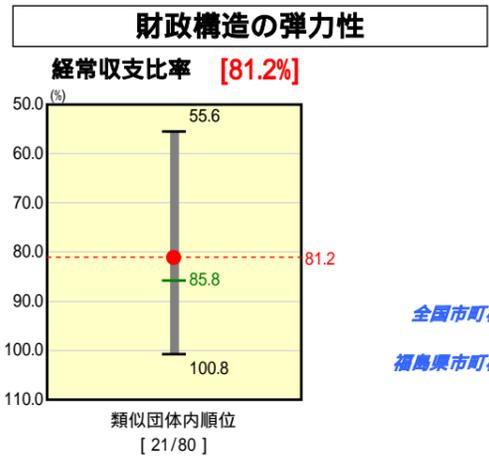
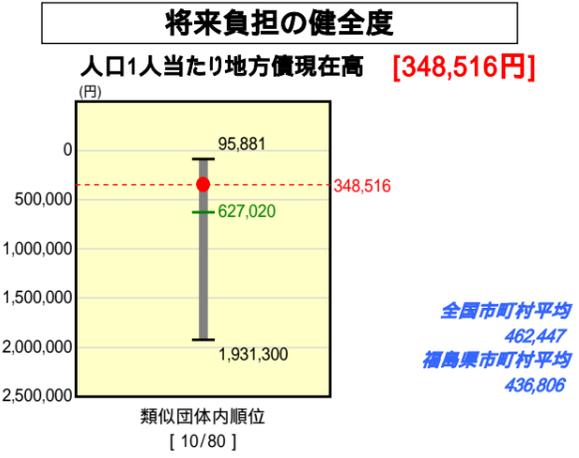
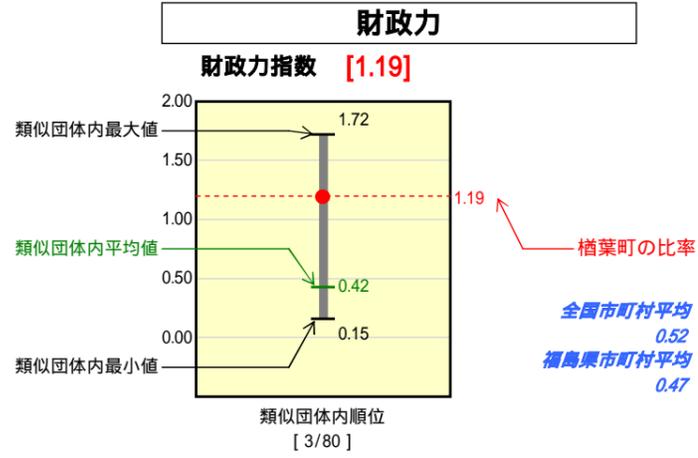


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

福島県 楡葉町

人口	8,362人	(H18.3.31現在)
面積	103.45	km ²
歳入総額	5,248,994	千円
歳出総額	5,019,128	千円
実質収支	200,666	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数
大規模事業所(原子力発電所)の立地により類似団体平均を大きく上回る税収があることから、1.19となっているが、町税のうち大規模償却資産に係る固定資産税が毎年減収となっていることや、これまでに整備した公共施設等維持管理経費が財政を圧迫している状況にある。今後は、楡葉町集中改革プランに沿った町税の徴収率向上(毎年度95%以上)による歳入の確保と事務事業の見直しによる歳出削減に努める。

経常収支比率
全国及び県内市町村平均を下回っており、対前年度比率も 3.6ポイント下降している。これは、前年度において、経常経費である公債費において減税補てん償の一括償還があったことが大きな要因であり、この一括償還を控除した経常収支比率81.0%との比較は0.2%の増とほぼ横這いの状況といえる。しかし、一昨年(平成15年度決算)から比較すると上昇傾向にあり、徐々に財政硬直化が進んでいると思われる。要因としては、義務的経費である扶助費や施設管理にかかる維持補修費等、一部事務組合に対する補助費等が年々増加傾向にあることが考えられる。今後、行財政改革の計画的な取り組みにより義務的経費の抑制を図り、平成21年度決算時までに80%以下を目標に改善に努める。

実質公債費比率
下水道事業費や水道事業費に係る起債の償還等に伴い上昇し、類似団体を1.4%ポイント上回っている。今後控えている大規模な事業計画の整理・縮小を図るなど、起債依存型の事業実施を見直し、今後5年間で類似団体の水準である14%まで低下させる。

人口1人当たり地方債現在高
類似団体平均を下回っている。今後、大規模投資事業(中学校事業)も予定されていることから新規地方債発行が見込まれるが、現水準の維持に努める。

ラスパイレース指数
旧来からの給与体系により類似団体平均を2.5、全国町村平均を1.2上回る状況となっている。新たな財源確保は困難な状況にある中、歳出の中でも特に人件費削減は避けては通れない重要な課題であることから、特別昇給の見直しなどを実施し、楡葉町集中改革プラン最終年度(平成21年度)までに類似団体平均の水準である92.2まで低下させる。

人口1,000人当たり職員数
本町特有の地理的条件による公共施設の点在が、類似団体と比較し1.42人上回っている大きな要因であると考えられることから、現在各施設の統合を実施している。(4ヶ所から1箇所へ減)。更に、定年退職不補充など定員の見直し(5年間で6人削減)や業務の民間委託の推進等により適正な定員管理を実施し、簡素で効率的な行財政運営を図る。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額
本町特有の地理的条件による公共施設の点在(幼稚園・保育所各2箇所)が、類似団体と比較し施設維持管理に係る人件費及び物件費が平均を上回っている要因となっている。今後は、施設の統合による経費の削減や、施設の維持補修費の平準化を図り、また、実施可能な部分については、指定管理者制度の導入をより拡大させ、コストの低減を図っていく方針である。